

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	眼底写真を用いた眼底疾患の自動判定システムの開発
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	平成 10 年以降に当院眼科で眼底写真撮影を行なった患者さん
③概要	近年、社会の高齢化と生活習慣病の増加に伴い様々な眼底疾患が増加しており、眼底の異常を早期に発見して精査と治療を開始することが求められています。自覚症状がない状態または症状が軽微な時点では、異常の発見には健診が主な役割を担っています。しかし健診で判定される眼底写真は膨大であり、一つ一つ時間をかけて判定することが難しいという現実的な問題があります。本研究では眼底疾患の検出精度向上及び検査時間短縮を目的とした診断補助システムの開発を行います。人工知能をはじめとした最新のテクノロジーを活用し、コンピュータによる眼底疾患の自動検出精度を高めていきますが、この際に当院で撮影された眼底写真を使用します。また撮影された方（18 歳以上）の診断名、性別、年齢や病状に関するデータも使用しますが、氏名や患者 ID といった個人を特定できる情報は一切使用しません。
④申請番号	2017-0097
⑤研究の目的・意義	疾患を有する多数の眼底写真を用い、眼底疾患の自動判定システムの開発を行う。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2025 年 3 月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、本学内での研究に使用します。他の機関へ情報を提供することはありません。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	眼底写真と診断名、性別、年齢
⑨利用の範囲	新潟大学眼科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学眼科教授 福地健郎
⑪お問い合わせ先	新潟大学眼科医局 025-227-2296 長谷部日 hirimah@med.niigata-u.ac.jp